

校友会報

No.03
2017.11 発行



伊予灘ものがたり



昭和30年頃城北



愛媛大学御幸寮

発行：愛媛大学校友会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
Tel:089-927-8610 / Fax:089-927-8609

E-mail:office@koyu.ehime-u.jp
webサイト:http://koyu.ehime-u.jp/

愛媛大学キャンパス案内

城北キャンパス

現在の愛媛大学キャンパスです。
皆さんが知っている頃と比べて
いかがでしょうか。



校友会館



アイコン凡例

- 出入口
- 駐車場
- 車いす駐車場
- バイク置場
- 駐輪場
- ATM
- AED自動体外式除細動器
- 食堂・カフェ
- ショップ
- 公衆電話
- 愛キャンテレビ
- 電子掲示板
- 喫煙コーナー

重信キャンパス



樽味キャンパス



CONTENTS

愛媛大学キャンパス案内	02
大学支援事業	04
課外活動支援事業	05
海外留学支援事業	06
学業奨励金給付事業	08
就職支援事業	09
大学支援事業	10
ホームカミングデー	11
サークル紹介	12
子規俳句カレンダー	14
社会連携事業	15
先輩に学ぶ	16
国内支部	20
中国支部(設立準備中)及び海外支部	22
連携組織	23
平成29年度校友会理事会	24
事業報告及び事業計画	25
校友会組織, Q&A	26
会員情報登録, 事務局だより	27

入学式の様子 2017年4月6日(木)、「ひめぎんホール」にて愛媛大学入学式が開催されました。

平成29年度愛媛大学入学式及び大学院入学式が4月6日(木)の午前10時から「ひめぎんホール」(愛媛県民文化会館)において挙行され、1,868人の学部生及び417人の大学院生が入学しました。

入学式では、学部ごとに入学生が紹介された後、大橋学長の式辞がありました。引き続き高橋祐二愛媛大学校友会会長から「校友会は様々な事業を行っていますが、大学支援事業は、学生の皆様への支援が中心です。これからも会員相互のネットワークの拡充、大学と地域社会の交流への支援など、幅広く愛媛大学の活動を支援させていただき所存です。」と祝辞がありました。

また、入学生を代表して、医学部看護学科の奥村南々子さんが「支えてくれる周りの人への感謝を忘れず勉学に励みます」と力強く宣誓しました。



会長祝辞 -2017.4.6-

本日、愛媛大学に入学された皆さん、誠におめでとうございます。皆さんの門出を心から祝福いたします。また、ご列席のご家族の皆様をはじめ、新入生の皆さんをこれまで支えてこられた方々に、心よりお喜び申し上げます。

さて、愛媛大学校友会は、平成16年、愛媛大学が国立大学法人として生まれ変わった年に設立されました。大学、在学生および卒業生を支援し、地域社会に貢献していくことを目的としています。愛媛大学の教育研究を支援するとともに会員相互の親交を図り、併せて地域社会への連携・協力を推進するための組織、いわば「愛媛大学応援団」です。会員は、愛媛大学の卒業生をはじめ、教職員、元教職員、そして在学生の皆さんなど愛媛大学に関係のある方々からなり、会員数は国内外併せて12万人を超え大きな組織となっています。目的を達成するための事業も様々で、課外活

動支援、海外留学支援、留学生支援、就職活動支援といった学生の皆さんの支援事業を中心に、ホームカミングデーの開催や社会教育の推進と地域活性化に貢献する事業等を進めています。

今後、愛媛大学校友会は、これらの事業を更に充実させるとともに、国内2つ、海外6つの校友会支部と連携を図りながら、城北キャンパス内にあります「校友会館」を拠点とした会員相互のネットワークの拡充、大学と地域社会の交流への支援など、幅広く愛媛

大学の活動を支援させていただき所存です。

終わりに、これから始まる大学生活は、皆さんの長い人生において、かけがえない経験や仲間を得る、とても貴重な時間となります。何のために勉強をするのか、何を学ぶのか、自分がどうありたいのか、これからどう生きていくのかなど、しっかりと自分で考え、自立した人間として成長されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

愛媛大学校友会会長 高橋 祐二



愛媛大学校友会では学部入学生に、学修ポートフォリオファイルと、校友会会員登録記念品を進呈しました。

平成29年8月9日（水）、愛媛大学校友会館2階サロンで、学生団体活動援助金交付式を大橋愛媛大学長及び高橋校友会会長出席のもと実施しました。

これは、校友会学生支援事業の一つで、愛媛大学の学生団体評価実施規程に基づき、大学が平成28年度における課外活動状況を上位からA～Eの5段階に評価し、優秀な団体に対し校友会から活動費（総額500万円）を援助するものです。

これにより、学生の皆さんの課外活動の更なる飛躍及び活性化を促し、また校友会の支援事業を理解していただくことを目的として平成19年度から実施し、今回で11回目の交付となりました。

交付式では、評価Aのサークル紹介があった後、大橋学長から「校友会には今年も、本学の課外活動団体に資金を援助していただきありがとうございます。

大学としても課外活動に対しては大いに支援していくつもりです。皆さんも活動を通じて多くの仲間と切磋琢磨し、いろいろな能力を身につけてください。また、校友会には今後ともご支援をお願いします。」との挨拶がありました。



引き続き高橋校友会会長から体育系全学サークル代表者と文科系全学サークル代表者にそれぞれ活動援助金の目録が授与され、「A評価を受けられた団体の皆さん、おめでとうございます。皆さんが日頃からサークル活動に真摯に取り組み、日々努力を積み重ねられたことに敬意を表します。皆さんの熱意とリーダーシッ

プを今後活かしてください。私は1972年に入学し自動車部に入部しました。その仲間とは今も交流が続いています。また、サークル仲間だけでなく地域の人たちとの交流はコミュニケーション能力の向上に繋がったと思います。」との挨拶がありました。



記念撮影の後に引き続き行われた懇談では、各サークル団体から活動内容や実績等の報告、また大学への要望などについて意見交換がありました。

愛媛大学の課外活動サークルのより一層の活躍を期待しています。



【給付対象

評価C以上：給付団体 計50団体
(体育系33団体、文化系17団体)】

【今回のA評価の団体】

- ・体育系6団体
ダンス部、陸上競技部、弓道部、漕艇部、硬式野球部、男子バレーボール部
- ・文化系4団体
E.S.S.、書道部、放送研究会、吹奏楽団



学生の学習環境充実のために、大学の図書館（城北地区中央図書館、重信地区医学部分館、樽味地区農学部分館）へ毎年200冊以上の学生用図書を寄贈しています。

- ・平成26年度…325冊
- ・平成27年度…342冊
- ・平成28年度…243冊

※寄贈本には校友会の印章が押印してあります。

留学する学生のために、渡航費や海外旅行傷害保険等の一部を支援しています。
また、海外留学安全対策協議会（JCSOS）のJ-Basic加入料を負担しています。
この制度により、海外留学した学生の体験記を掲載します。

「韓国文化研修」

法文学部人文学科2年 中尾 友香

概要

■研修期間 2016年8月19日～2016年8月26日

■留学先 韓国 韓瑞大学校



1. はじめに

私は2016年8月に行われた、8日間にわたる韓国文化研修に参加した。この研修に参加した理由は3つある。まず1つ目に、大学での専攻にしたいと考え韓国語を勉強していたが、一度も韓国に行ったことがなかったからだ。次に、韓国の過去と現在を勉強できると考えたからである。最後に、外国の方と交流したいと思っていたからである。ここでは8日間の研修で感じたこと得たことを述べていきたい。

2. 研修の様子

8日間の日程の中で、最も心に残ったことが2つある。1つ目は、韓国民俗村・景福宮での文化体験である。今までドラマの世界でしか見たことがなかった、庶民・両班の暮らしぶりや当時の職業が再現された村の様子に、歩を進めるごとに感動した。伝統的な食材の保存方法、飲食物、家の造り、行事などを同じ班になった韓国人の学生に解説してもらいながら学んだ。



<独立記念館>

2つ目は、近年の韓国の歴史を学んだ、独立記念館、DMZ、臨津閣への訪問である。今までに高校の勉強という範囲で学んでいた。しかし、それは本当にごく一部の表面的な内容でしかなく、またそれらは日本国側からのみの視点という偏った見方だったのだと感じた。独立記念館では朝鮮人の民族意識の強さを感じた。国を守るため、取り戻すためにかけた強く熱く必死な思いが今にも伝わってきそうであった。日本は島国ゆえか、侵略される恐怖を身近に感じる事が少なく、歴史的に見ても強制弾圧を受けたことがなかったため、民族意識を持っている人は現代でも少ないのではないかと私は「日本人」としての自分へ意識を向けようとしたが、終着点が見当たらなかった。日本がもし同じ状況に立ったとき、日本国民はどう感じ、どう行動を起こすのか全く予想もつかないことである。

DMZ、臨津閣では北朝鮮との距離の近さに驚いた。国境が見えてしまうほどの近さにありながら、未だ休戦状態であるという現状を、改めて深く考えさせられた。

3. 研修で得たこと・生かしたいこと

私が研修で得たことは主に3つある。初めに、韓国へのさらなる興味である。行く前よりも、もっとしっかり韓国語を勉強していきたいという気持ちが強くなった。日本語訳で

は伝わらない韓国人の考え方があるのではないかと思った。また、私が関心を寄せていたのは朝鮮時代初期～中期だけであったが、19世紀以降の近代韓国についてももっとじっくりと学んでいきたい。

次に、日本国・日本人・日本の歴史について、改めて学ぶことの必要性である。他国を訪れ、人・文化・考え方に触れることで、自国を知ることの大切さがよく分かった。自国の良い点悪い点を、様々な視点から見直していきたい。

最後に、大切な仲間である。韓瑞大学の学生たちは全く韓国語が喋れない私たちに、慣れない日本語で優しく丁寧に説明してくれた。韓国人学生は日本の近代文化であるマンガやアニメ、音楽についての知識が豊富で、日本人の私たちが知らないことを知っていたことにとても驚いた。最終日に予定されていた各グループごとの発表に向け、食べ物・文化・学生生活など日韓の比較をする際に、共通点・相違点を見つけながら楽しく交流できた。私たちのグループは今でも全員で連絡を取り合っており、本当に素晴らしい仲間と出会えたこの研修に感謝している。

4. 最後に

多くのことを感じ、得られた研修であった。今後さらに韓国語の勉強を頑張って、もう一度韓国に行けたらと思う。

「台湾留学報告書」

工学部環境建設工学科3年 北野 有美

概要

■研修期間 2016年9月4日～2017年1月17日

■留学先 台湾 国立高雄大学



1. 留学動機

私は大学入学当初から海外に興味を持っており、1回生の時には3週間のアメリカ文化研修に参加した。その時に、もっと長い間海外で生活してみたいと感じた。3回生になり、自分の学科で留学のプログラムがあることを知り、自分にとって良い経験になると思い、留学に行くことを決意した。

2. 台湾の印象

台湾で生活してみて、台湾人は非常に優しい人が多いと感じた。また、日本語を話せる人も多く、中国語が分からず困っていると、日本語で優しく声を掛けてくれるということが何度もあった。

また、スーパーに行くと日本製の商品が多く売られており、日本人が生活するのに非常に便利な土地であると感じた。

3. 大学生活

高雄大学では中国語を勉強する授業と工学部が開講している専門的な授業を受講した。中国語を勉強するクラスは、高雄大学にきている留学生と一緒に授業を受けた。韓国人やフィンランド人、オーストリア人など様々な国の人と友達になることができ、台湾だけでなく、ほかの国の文化にも興味を持つようになった。中間・期末テストでは中国語でプレゼンテーションを行い、自分がどのくらい中国語を身に付けることがで

きたのかを実感することができた。

専門的な授業では、中国語が分からないので、英語で開講されている授業を選択した。クラスのみんなも非常に優しくしてくれて、期末テストのプレゼンテーションなどグループの人が手伝ってくれた。また、実験では班のみんながやるべきことを教えてくれたり、レポートも手伝ってくれたりした。先生も非常に優しく、授業に関して不便に感じることはほとんどなかった。

研究室にも所属して、画像分析に関する研究を行った。研究室のみんなが英語で話しかけてくれて、非常にうれしかった。また、研究室の先生の家へ招待してもらって、夕食を一緒に食べたり、先生の家族の方々と話したりとても楽しい時間を過ごすことができた。



4. 台湾生活

私は高雄大学の寮で生活していた。寮の近くには大型スーパーやコンビニ、ご飯屋さんがいくつかあり、非常に便利だった。また、寮の近くにバス停があり、容易に遠出することもできた。MRTに乗ると高雄市内

のどこにでも行くことができ、様々な観光地に行った。また、高雄から台北までは新幹線で1時間30分くらいと非常に近いため、週末はよく旅行に行った。台南や台中、台東、台北、屏東などに訪れて、高雄市との違いも感じることもできた。田舎の方や地元の人が行くようなお店では、英語が通じなかったため、大学で習った簡単な中国語を頑張って使って、コミュニケーションを取るなど大変なこともあったが、非常に有意義な時間を過ごすことができた。

5. まとめ

この留学を通して、日本に居ては体験できないような様々なことを体験することができた。また、言語を身に付けることは非常に大変だなと感じた。簡単な挨拶ぐらいしか中国語で話すことができなかったため、最初はとても苦労した。しかし、台湾人の友達に手伝ってもらって少しずつ中国語が分かるようになり、一人でお店に行くこともあまり怖くなくなっていた。このような経験を通して、言葉が伝わる喜びを感じ、もっと学びたいという意欲がわいた。また、台湾でできた友人とはこれからも連絡を取り続けたいと思う。そして、友人が日本に来た際には、私が日本を紹介したいと思う。

平成29年2月7日（火）、愛媛大学校友会館2階サロンで、平成28年度 愛媛大学「地域定着促進特別奨学金」交付式を大橋愛媛大学長及び高橋校友会会長出席のもと実施しました。

この愛媛大学「地域定着促進特別奨学金」制度は、校友会からの資金援助により、本学学生が卒業後、愛媛に就職し、かつ地域の発展に貢献できる人材を確保する目的で今年度から新規に創設されたものです。

具体的には、「愛媛大学第3期中期目標・中期計画」に基づき、今年度から平成33年度末までに、現在の県内就職率を現在の約38パーセントから50パーセント以上を目標に、キャリア形成支援として立ち上げ、愛媛県内の企業、自治体、学校等に就職し、県内に定住する学部学生に対し、愛媛大学が審査・選考のうえ20人（1人20万円、総額400万円）に経済的支援を行うものです。



式では、大橋学長から特別奨学金を受給することとなった学生に、「今後、地域の中核的な担い手として、愛媛県内の企業、行政機関等に就職され、また、医学部生にあっては臨床研修に参加し地域医療に従事されるなど、愛媛県に定住し、地域の活性化や発展に寄与してくれるものと期待

しています。また、校友会には今後とも変わらぬご支援をお願いします。」と挨拶がありました。



引き続き高橋校友会会長から特別奨学生一人一人に目録が贈呈され、「この度は愛媛県内企業等への就職内定、誠におめでとうございます。今後、皆さまには本奨学金受給者として、愛媛に根ざし、地域の発展と活性化に大いに寄与していただきたいと願っております。」と激励の挨拶がありました。



その後、受給者を代表して教育学部総合人間形成課程の小松由貴さんが、「この奨学金を経済的補填に使用し有効に活用します。」と謝辞がありました。



就職活動支援（バス運行、交通費補助）

愛媛大学および各学部後援会と共催で、東京、大阪で開催される合同企業説明会へ参加する在学生のためにバスの運行や交通費の補助を行っています。

就活学生と卒業生との情報交換会開催

首都圏及び近畿圏への就活ツアーに参加した就活学生と同圏内に在住している卒業生との情報交換会を開催しています。

この情報交換会は、就活学生が卒業生から、就職や職業生活等の情報を収集し、今後の就職活動に役立てる目的で実施するものです。さらにこの情報交換会を通して、在学生と卒業生の交流を促進することで、校友会組織を拡充し、卒業生の協力による本学就職支援体制の強化充実を図るものです。

●平成29年2月28日(火) =大阪コース=

就職支援バスを運行（貸切バス2台）して情報交換会を開催しました。

大阪の合同企業説明会「マイナビEXPO」（インテックス大阪）に併せて実施しました。年度末の平日にもかかわらず、近畿圏在住の卒業生28人と就活生60人との情報交換会を大阪梅田のブリーゼプラザで開催しました。



情報交換会では、単なる就職活動のノウハウだけでなく、職業人としての心構えや仕事に対する姿勢など、幅広い情報交換が活発に行われ、本学学生と卒業生との新たな交流が生まれました。卒業生の皆様、お忙しいところありがとうございました。

●平成29年3月10日(金) =東京コース=

就活ツアー参加学生との情報交換会を開催しました。

東京の合同企業説明会「マイナビEXPO」（東京ビッグサイト）に併せて実施しました。この就活ツアーは平成18年度から実施しており、今回も首都圏在住の卒業生23人と就活生39人との情報交換会をグランパークプラザで開催しました。



情報交換会では就活生の代表が「本日の情報交換会で多くの諸先輩方と情報交換し交流を深めるとともに、就活生同士でも情報を交換し就活に役立てたい。」と力強い挨拶がありました。会場は卒業生と在学生との活発な意見交換で熱気が溢れ、在学生は真剣な眼差しで先輩に質問するなど、非常に有意義な会となりました。

卒業生の皆様、お忙しいところありがとうございました。

平成29年度の情報交換会の開催は次のとおり計画しています。卒業生の皆様のご出席を心よりお待ちしております。（都合により変更となる場合があります。）

●大阪コース 平成30年2月28日(水) 18:30～ 「ブリーゼプラザ」7階小ホール 大阪市北区梅田2-4-9

●東京コース 平成30年3月10日(土) 17:00～ 「グランパークプラザ」4階（401ホール）東京都港区芝浦3-4-1

卒業式の様子 2017年3月24日(金)、「ひめぎんホール」にて愛媛大学卒業式・大学院学位記授与式が開催されました。

平成29年3月24日(金)、平成28年度愛媛大学卒業式及び大学院学位記授与式が挙行され、1,864人の学部卒業生、379人の大学院修士生に学位記が授与されました。

午前10時から「ひめぎんホール」メインホールで、平成28年度愛媛大学卒業式が挙行され、大橋裕一学長から各学部の代表者に学位記が手渡され「愛大学生コンピテンシーを身につけた皆さんは、自信をもって社会で活躍してください。」と式辞があった後、高橋祐二校友会会長が「皆さんが、愛媛大学で恩師の先生方、そしてかけがえのない多くの仲間とともに学び、成長され、新たな一歩を踏み出す佳き日を迎えられましたこと、あらためてお祝い申し上げます。」と卒業生に祝辞を述べられました。

その後、卒業生を代表し工学部の白方あかりさんから、「学んだことを最大限に生かし、新しい道を切り開き、一歩ずつ前に進んで行きたい。」と答辞がありました。

また、校友会では卒業生に、卒業記念品として『今治のタオルマフラー』を贈呈しました。卒業生の皆様の今後ますますのご活躍とご発展をお祈りいたします。



会長祝辞 -2017.3.24-

皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが、愛媛大学で恩師の先生方、そしてかけがえのない多くの仲間とともに学び、成長され、新たな一歩を踏み出す佳き日を迎えられましたこと、あらためてお祝い申し上げます。また、ご列席のご家族の皆様におかれましても、長い間のご苦勞が報われ、感慨ひとしおのことと心からお喜び申し上げます。

さて、皆さんは、ご入学時に愛媛大学校友会へ入会しておられますが、卒業後も私たちとともに、母校の発展を温かく見守り、支援していただきたいと思えます。ご承知の通り、愛媛大学校友会は、大学、在学生および卒業生をいろいろな形で支援し、地域社会に貢献していくことを目的として、平成16年3月に設立されました。現在、首都圏、近畿圏の国内2支部、中国、ベトナム、ネパール、マレーシア、インドネシア、バングラデシュの海外6支部を有し、会員数は12万人を超える大きな組織となっています。

また、校友会には、会員相互の親交を図るという目的もあり、城北キャンパス内の「校友会館」を拠点に活動していま

す。その一つとして、毎年、学生祭に合わせて開催しております「愛媛大学ホームカミングデー」があります。これは、卒業生が一同に集い、旧交を温めるとともに、講演会、懇親会等を通じて、在学生や教職員らと語り、母校の現状を理解していただく絶好の機会となっておりますので、皆さんも是非、母校へ帰ってきてくださるようお願いいたします。

終わりに、皆さんが大学生活で培った



知識、技能のみならず、経験や人間関係というものは、間違いなく人生の糧となります。それらを礎に、これからは社会で、あるいは大学院で、グローバルな視点を持ち、自ら考え行動する人間を目指してってください。皆さんのご活躍と幸多き未来を祈念申し上げ、私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。

愛媛大学校友会会長 高橋 祐二

第7回ホームカミングデイを開催しました。

平成28年11月12日(土)に、第7回愛媛大学ホームカミングデイを開催し、卒業生、学生及び教職員あわせて約290人が参加しました。

【プログラム】

- | | |
|--|---|
| <p>13:00～ 同時開催イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●愛大ミュージアム見学 ●植物工場
(樽味キャンパス) 見学 | <p>15:00～ 式典(南加記念ホール)</p> <p>司会:合田みゆき氏(フリーアナウンサー 教育学部卒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学歌斉唱・・・愛媛大学合唱団 ●学長挨拶・・・大橋裕一学長 ●新学部紹介・・・西村勝志社会共創学部長 ●特別講話『地震と道後温泉～謎解き道後温泉史～』
高橋治郎愛媛大学名誉教授(NHK「プラタモリ」出演) ●学生サークル紹介・・・チアリーディング部 ●スペシャルコンサート
ダンディーズ, 附属小学校コーラス部 <p>17:15～ 懇親会(大学会館1階)</p> |
|--|---|



ホームカミングデイは、平成22年度から愛媛大学と校友会との共催で学生祭と同時期に実施しており、今回が7回目の開催となりました。

式典の第1部では、まず最初に愛媛大学合唱団と参加者全員で学歌を斉唱。その後、大橋裕一学長より開会の挨拶と愛媛大学の最近の動きについて紹介がありました。続いて西村勝志社会共創学部長から、新しく設立された新学部の紹介がありました。その後、愛媛大学名誉教授の高橋治郎先生による「地震と道後温泉」と題した講話があり、地震、地層と道後温泉の関連など非常に興味深い講話がありました。

第2部のサークル紹介ではチアリーディング部が、若さ溢れるパフォーマンスを披露し会場から盛大な拍手がありました。

続いて、ダンディーズが合唱を披露。ダンディーズには大橋学長、高橋校友会会長をはじめ愛媛県内の著名な方々が所属され、美しいハーモニーで合唱しました。

続いて、本学教育学部附属小学校コーラス部が合唱し、最後に参加者全員で「花は咲く」を合唱して閉会しました。



大学会館で行われた懇親会には250人余りが出席し、仁科弘重理事・副学長(校友会担当)の挨拶の後、校友会の高橋祐二会長の挨拶と乾杯により開会しました。また、学生団体活動報告が行われました。今後のますますのご活躍を期待いたします。

懇親会では本学のオリジナル品が用意され、また、今回は下灘漁業協同組合女性部によるハモ料理の実演をしていただき、「ハモカツ」「ハモ天」「ハモじゃこ天」などが振る舞われ、参加者は舌鼓を打ちました。

また、恒例となった「愛大のオリジナル商品」が贈呈される抽選会では、5人のラッキーな当選者が読み上げられると歓声やため息が出るなど大いに盛り上がりました。最後に主催者を代表して大賀理事・副学長からの挨拶と一本締めで閉会しました。

第8回ホームカミングデイ | 平成29年11月11日(土)13時～ | 場所:愛媛大学城北キャンパス

- | | |
|--|---|
| <p>【プログラム】 式典(南加記念ホール)</p> <p>15:00～ 第1部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学歌斉唱 ●学長挨拶 ●「愛媛大学の国際連携の取組紹介」
国際連携推進機構長 安川 正貴 ●特別講演
「海外での本学卒業生の活躍、愛媛大学への期待」
愛媛大学校友会会長
三浦工業(株) 代表取締役会長 高橋 祐二氏 | <p>16:35～ 第2部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●卒業生(留学生)によるスピーチ
「学生時代と今のわたし」 ●留学生によるパフォーマンス <p>17:15～ 懇親会</p> |
|--|---|

開催の様子は次号で報告いたします。



硬式野球部

(平成29年8月現在)



部長 有馬 誠一 (農学部教授)
監督 大島 知樹
主将 西島 晴人

- 1 現在の部員数
男子：59名 女子：5名
- 2 活動場所
山越運動場

- 3 活動時間
1日4時間 (火, 金, 土, 日, 第1・2水, 第3・4木)

- 4 最近の活動内容, 実績
第64回全日本大学野球選手権大会出場
第65回全日本大学野球選手権大会出場

- 5 ホームページ
<http://www4.hp-ez.com/hp/aidaikoushikiyakyu>



松山東高卒 亀岡投手



練習風景(話し合い)

6 アピールポイント

愛媛大学硬式野球部では今まで(高校野球)とは違い、練習メニューやトレーニングなどを部員自前で工夫し考え、日々の練習を行っています。

今年のチームのテーマは「生きる力をつける」です。大学生である我々は社会人という次なるステップを控えています。愛媛大学硬式野球部という組織の一員だということを忘れずに部員一人一人がその自覚と責任をもって行動することをはじめ、多くの部員の中で自らの考えや意思を発言、表現することを大切にし、ミーティングや練習後の反省を活発に行っています。

一昨年、昨年の四国六大学春季リーグ戦では優勝を果たし、2年連続で第64回、65回全日本大学野球選手権大会出場を成し遂げました。次なる目標は全日本大学野球選手権大会出場はもちろん、そこで勝利することです。目標に向け、部員一同日々の練習に取り組んでいます。

私がこの愛媛大学硬式野球部に入部してよかったと思うことは、自分の行動や自分の発言が周りに与える影響などを客観的に考えられるようになったことです。自分の今置かれている立場やすべき行動について考える機会が増えたり、他の部員からのアドバイスや指摘から自身の在り方を見つめなおしたりする機会が増え、自分を磨くことができている。また、様々な考えをもった部員とかわることで自分の中にはなかった価値観に触れることができている。

今後とも愛媛大学硬式野球部へのご支援やご声援をよろしくお願いいたします。

(主将：西島 晴人)



(平成29年8月現在)



顧問 Ronald MURPHY

部長 小野 浩之

1 現在の部員数
男子：10名 女子：18名

2 活動場所
愛大ミュージズ,
図書館グループ学習室

3 活動時間
平日 月～金 12：05～12：25
火・金 18：00～19：30, 20：00～22：00

4 最近の活動内容、実績
平日
月～金 12：05～12：25 ラジオ英会話
火・金 18：00～19：30 レクリエーション活動
火・金 20：00～22：00 セクション活動（ディベート,
スピーチ, ディスカッション）



5 ホームページ なし

6 アピールポイント

E.S.S.のアピールポイントを3つ挙げます。一つ目のアピールポイントはスキルアップできる環境がある点です。何事にもスキルアップをするためには継続が大切だと考えています。その時に理解できたことも時間が経てば忘れてしまいます。E.S.S.は平日は毎日ラジオ英会話をしています。この活動を継続して有効に活用すると着実に英会話力がつきます。さらにグループで学習することでモチベーションを保つことができ、継続するという気持ちも強くなります。

次のアピールポイントは自己表現できる場所であるという点です。E.S.S.の活動では自分の意見を言う場面が多々あります。組織に属すると、誰かの意見を受け入れるだけの受動的な人間よりは自分で積極的に意見する人間の方がより求められます。社会に出てもこの力は大きい役立つものです。また、自分の意見を英語で述べるときはいかに分かりやすい表現を用いて伝えるかということが大切になります。よって、E.S.S.の活動を通して相手を意識したコミュニケーションができるようになると思っています。

最後のアピールポイントは個性豊かなメンバーです。どのような活動も楽しめなければ効率的に身につけることができません。E.S.S.のメンバーはみんなそれぞれ強い個性を持っています。自分にない個性を持った人と接しながら活動することによって様々な刺激を受けることができます。刺激を受けることで自分だけで学習するよりも活動の幅も広がり、有益な学習ができると考えています。

(部長：小野 浩之)

校友会では、毎年、子規俳句カレンダーを製作しています。卓上タイプで、両面使用可能です。(片面は写真メイン、もう片面はスケジュールを記入することが出来ます。)

学長が選句された正岡子規の俳句と、大学職員が撮影した四季折々の愛媛県内などの写真、そして英訳で構成されております。このカレンダーが国内外の皆様と愛媛大学、愛媛県や子規との出会いの機会になればと思います。

2018年版 |

1月 我庵はお城の上に初日哉



日の出 (松山城と石鎚山)

2月 紅梅に雲のかゝる余寒かな



紅梅 (大洲市富士山)

3月 辻堂に絵馬のふゑたる弥生哉



伊豫豆比古命神社 (椿神社)

4月 菜の花や駅から駅へ三里半



伊予灘ものがたり (双海町)

5月 おもしろくふくらむ風や鯉幟



大洲 (大川地区) 鯉のぼり

6月 しんととして川せみ飛ぶや山の池



カワセミ (東温市)

7月 妹に七つ星を数へけり



星空 (石鎚山)

8月 われ愛すわが豫州松山の鮓



松山市水産市場前 句碑

9月 瀧の音残る暑さもなかりけり



新居浜市 銚子の滝

10月 一日の秋にぎやかに祭りかな



松山秋祭り 道後鉢合わせ

11月 啄木鳥や山しんとして晝の月



オオアカゲラ (高縄山)

12月 雷神の物買ひにくる年の市



第43番札所 明石寺 (西予市) 雷神像

【会員限定プレゼント】

■子規俳句カレンダー 2018

愛媛大学校友会 [2018年版子規俳句カレンダー] を校友会会員様に限りプレゼントいたします。

詳細・応募につきましては12月中旬に校友会ホームページにてご案内いたします。先着200人(予定)としておりますのでお早めにご応募ください。



「特定非営利活動法人 愛媛大学校友会人材活用センター」の活動

校友会会員（主に退職教員）で構成された「特定非営利活動法人愛媛大学校友会人材活用センター」は、県内の各自治体や教育機関に人材を提供するとともに、広く一般市民向けに学術、文化、芸術、保健等に関する公開講座、講演会等を開催するなど、社会教育の推進と地域の活性化に貢献しています。 ホームページ <http://koyu.ehime-u.jp/koyu/npo/>

●平成29年2月～4月 公開講座「愛媛の地域おこし」を開催しました。

■第1回目 2月18日(土)の午後開催

・「米づくりによる風景づくり」 穂田琉ファーム代表 坂本 憲俊氏

・「社会共創学的発想で愛媛の水産業を考える」

社会共創学部副学部長・南予水産研究センター副センター長・教授 若林 良和氏

■第2回目 3月4日(土)の午後開催

・「地域再生を自然エネルギー活用で」 愛媛大学アカデミック・アドバイザー

(株)愛媛地域総合研究所代表取締役・九州大学名誉教授 村田 武氏

・「千年の森をつくる生き方」

愛媛大学アカデミック・アドバイザー・自伐型林業推進協会副代表 鶴見 武道氏

■第3回目 4月15日(土)の午後開催

・「コミュニティづくりへのシルバー層の貢献」 愛媛大学名誉教授、シンクタンク「惣」代表

畑野川の里づくりグループ事務局長 藤目 節夫氏

・「愛媛の自然・生活環境を考える」

愛媛大学名誉教授 江崎 次夫氏



●平成29年3月25日 「講演会とアフリカ音楽の午後」を開催しました。

■講演会「原始・古代史における瀬戸内・愛媛の役割」

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター長・教授 村上 恭通氏

■ジャンベ（アフリカの太鼓）演奏会

アフリカ音楽演奏家 NICK MAYUNGA氏 ほか



本学卒業（修了）後、愛媛県内企業等で活躍されている先輩を現役の愛大生が訪問取材し、先輩の生の声を掲載する『先輩に学ぶ』をホームページに掲載しています。これは、様々な業種に就かれている卒業生同士や後輩学生との交流を図るとともに、校友会会員相互のネットワークを拡大させることを目的としています。

また、先輩からの有意義な学生生活の過ごし方や就職活動等へのアドバイスなど、先輩だからこそ教えてもらえる社会のこと大学のこと（先輩学）をインタビューしています。

セーラー広告(株) 金子 陽子さん

(2014年3月 法文学部総合政策学科 卒業)

〈現在：セーラー広告(株)

愛媛企画制作部 プランナー〉

(平成28年9月取材)

広告主であるお客様と社会をつなぐ仕事をしています。お客様の課題を解決することが地元愛媛を良くすることにつながると信じ、日々奔走しています。

現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

広告代理店では民間の企業だけでなく、県内の行政機関など様々な業種のお客様がいらっしゃいます。ここで働けばあらゆる業種に触れ、他ではできない経験ができると思ったことがきっかけです。

高校生の頃は英語を使い海外の人とやり取りをするようなグローバルな職に就こうと考え、大学でもグローバルスタディーズコースを選びました。ですが愛媛で生まれ育ったので、次第に地元で貢献できる仕事がしたいと考えるようになり、就職活動では広告業だけでなく、サービス業やメーカーなど一つに絞らず30から40社ほど受けました。色々な会社に面接に行くうちに一つの業種だけではなく、広く関わることのできる仕事に就きたいという気持ちが強くなり、今の仕事に決めました。



現在どのような仕事を担当していますか。

現在は行政機関が行っている「えひめいやしの南予博2016」という観光事業の広報物を制作しています。



私が制作を担当しているのは「いやしのじかん」という南予博の公式フリーマガジンです。南予博は、「いやし」をコンセプトとしたイベントの実施や南予の魅力発信によって、南予のブランド化を図ることを目的とした事業で、冊子も南予のいやしのイメージが伝わるように制作しています。具体的にはライターさんと取材に出かけたり、行政の方と冊子の内容についての確認などの調整をしています。また冊子の構成について企画し、デザイナーさんとの打ち合わせをしたり、時には自分で原稿やコピーを書くこともあります。

休日の過ごし方について教えてください。

ゴールデンウィークやお盆休みは東京や大阪などの都会に行くことがあります。普段の休日は読書をするなど、ゆっくりすることが多いですね。

広告業界にいと都会の広告や人の空気感を知ることはとても刺激になるので大切にしています。また、今年は香川で瀬戸内芸術祭が開催されているので、最近では豊島の美術館に行ってきました。都会に行ったり美術に触れたりといったプライベートの時間が仕事にも活かせることは多いです。でも、もっと欲を言うと、モルディブとか、遠い南の島に行っても考えずにぼーっとして癒されたい気持ちもあります(笑)。

在学時について、聞かせてください。

夏休みなどの長期休暇の時期を使ってフィールドワークや友人との旅行で海外に行くことが多かったです。学校の中だけでなく外で勉強することもたくさんありました。



東南アジアの研究に特に興味があり、フィリピンやネパールに2週間から1カ月ぐらいのスケジュールでフィールドワークに出かけました。海外旅行ではドイツ、チェコ、香港に数回に分けて行きました。特にチェコのプラハは英語圏ではなく、言葉はほぼ通じなかったのですが、現地の人達がとても優しく楽しかったので思い出深いです。社会人になるとなかなか海外に行く時間が取れないので、学生の皆さんも今のうちに行って欲しいですね。海外での経験は特別思い出に残りますよ！



フィリピンについての講演会の準備の様子



講演会当日の様子

社会人になって気を付けていることを教えてください。

業界の特色として体力勝負の側面があるので、自分の体調管理と、特にスケジュール管理には気を付けています。時間の使い方に関しては学生時代に比べて180度変わりましたね。

入社当初、仕事でダブルブッキングをした経験があり、スケジュール管理やわからないことは逐一確認することを心がけています。また仕事柄、マニュアルが無いいため、入社してすぐの頃は分からないことが分からないという状況でかなり苦戦しました。3年目の今でも、色々な業種の方と仕事をするので、1つとして同じ仕事はなく、常に勉強することがたくさんあります。そのため体力的にも精神的にも大変なのですが、好きな仕事なので頑張っています。

愛大生へメッセージをお願いします。

遊びでもバイトでも勉強でもいいので、学生時代に誰にも負けないくらい自分はコレを頑張った！というものを持っていて欲しいです。

私の場合、海外でのフィールドワークに力を注いでいましたが、友人の中にはサークル活動を頑張った人もいれば、遊びや趣味に全身全霊をかけている人もいて…人それぞれ力を注ぐところが違って、何かに全力で取り組んだという経験が後々生きてくると思うんです。その中で、自分はこういうことが好き、という軸を見つけることかできたらベストだと思います。社会に出ると学生時代に比べて辛いことにぶつかることが増えますが、そんな時に、今まで頑張ってきた経験が心の支えになるので、全力で取り組めるものを見つけてください。

愛媛県松山東警察署 上田 裕之さん

(2010年3月 工学部応用化学科 卒業)

〈現在：愛媛県松山東警察署
刑事第三課〉

(平成29年1月取材)



現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

学生の頃に、盗まれた自転車を警察官に見つけていただいたことがありました。その時に、窃盗などの犯罪から市民を守れるのは警察官しかいないというのを、身をもって実感しました。

全国的に見ても、松山は暮らしやすい町だと思います。でも窃盗や暴力事件があると、好きな町でも暮らせなくなる。「体感治安」という言葉があり、人が実際に肌で感じる治安の良し悪しに対する感覚の事です。生まれ育った愛媛の「体感治安」を良くしたいという思いがありました。もしかしたら、被害に遭うのは自分の友達や家族かも知れない。それを守れるのは警察官だけなんです。それで、体感治安で皆さんが一番肌で感じる犯罪が窃盗なので、三課の刑事になりました。

現在どのような仕事を担当していますか。

刑事第三課は窃盗事件の捜査を専門に担当する部署です。大学生は自転車の盗難に遭ったことがある人も多いかも知れません。そういった自転車を探して、犯人を捕まえるというのも仕事の一部です。



一日のスケジュールはその日ごとで違います。犯人と思われる人物を追いかけて、朝から「内偵捜査」というのを丸一日やったり、泥棒を現行犯で逮捕するために、深夜から朝方にかけて仕事をしたりします。生活リズムも変則的で大変です。犯罪を犯した人と対峙するという事は強い精神力が必要な時もあります。でも何より、事件を解決して市民の方から「ありがとうございます」と言われた時はとてもやりがいを感じます。

休日の過ごし方について教えてください。

結婚して子供ができてからは、お休みの日は家族で出かけることがほとんどですね。体力仕事なので、しっかり体を休めるようにすることも意識しています。

社会人になれば、警察でなくても、学生のように長期の休みはありません。学生の頃は時間が無限にあるように感じていましたが、社会人になるとそうはいきません。体を休める時はしっかり休めるなどメリハリをつけています。普通の民間企業と違うところは、皆がお休みの時に働かないといけないところでしょうか。お祭りの警備や大晦日・正月も交代で仕事です。今年（取材時2016）の大晦日は泊まりで仕事なので紅白は見られませんね（笑）

社会人になって気を付けていることを教えてください。

社会人と学生の違いのひとつは責任だと思います。学生の頃は、成人していてもある種守られている状況にあります。社会人になったら一つ一つの行動に責任を取らなければなりません。

松山で暮らすみんなが安全で暮らしやすい町になるように日々刑事として働いています。人の役に立てる、誇れる仕事だと思っています。



でも県内だけの異動になるので、どこの署になっても、大体は休みの日にすぐに帰れるのでそれほど苦ではないですね。

愛大生へメッセージをお願いします。

個人的な意見ですが、もし漠然と将来を何も考えていない学生がいたら、是非警察官を目指してみたいかがでしょうか。

どういった人物が警察官にふさわしいとか分からないんですよ。この仕事がしたいと思っても、実際にその人に本当に向いているのかやってみないとわからないと思うんですよね。でも取りあえず就職しようというだけで民間企業を選ぶなら、どんどん警察に来て欲しいですね。人間性を高めることができ、日々の仕事の身近なところからやりがいを感じられる仕事です。ずっと愛媛に住んでいる私が、この仕事を始めてさらに愛媛に愛着が湧きました。県外から進学してきた人も、せっかく愛媛に来たのであれば、4年間で慣れ親しんだ町と一緒に守りましょう。

職場のアピールをお願いします。

雰囲気はとて面白いと思います。みんな仲が良いです。責任のある仕事をする中で、お互い助け合いながら働いています。

女性の警察官も全体の1割は居り、三課にも一人います。女性の犯罪者も増えているので、そういった面でも女性警察官がこれからもっと必要になってくると思います。それから、警察官は愛媛県内で異動があります。私も今はたまたま松山東署に居ますが、数年一度、新居浜や宇和島など、どこかに異動、ということがあります。結婚して子供がいる警察官では単身赴任になる人もいます。

学生の頃は、部活の剣道は休むことなく熱心に取り組んでいましたが夜は友達と遊びまくりで、学業にはあまり勤しんでいませんでしたね(笑) 結局、責任を取るの自分になるのですが、やっぱり学生の頃は「自由」である、という意識が大きかったと思います。今の仕事をしている自分と学生の頃を比べると、「責任」という言葉を意識しながら生活していたとは思えません。あとは時間の使い方ですね。少ない自由時間を有効に使うようになりました。



学生時:剣道部所属(上段右から3人目)

首都圏支部だより

★校友会首都圏支部事務局（愛媛大学東京サテライトオフィス）は、平成29年10月に移転しました。

新事務局

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター6階 613号

（JR山手線・京浜東北線 田町駅 徒歩3分）（都営地下鉄三田線・浅草線 三田駅 徒歩5分）

Tel / Fax 089-927-8610 / 089-927-8609

E-mail office@koyu.ehime-u.jp（校友会事務局本部）

※職員は常駐していません。
連絡は校友会事務局本部へお願いします。

平成29年3月10日(金)

就活ツアー（東京コース）参加学生との情報交換会を開催しました。

▶詳細につきましては9ページをご覧ください。

平成29年5月27日(土)

愛媛大学校友会新社会人歓迎会「全員集合2017 in 東京」を開催しました。

今年も、16時から、港区芝浦のグランパークプラザ1階「百代茶屋」で開催しました。本歓迎会は、今春、愛媛大学を卒業し首都圏に就職された新社会人の方々を、校友会首都圏支部の役員や若手卒業生が歓迎し、新生活を応援するとともに会員同士の親睦と交流を深めるために開催しています。

本会も今回で第9回目の開催となり、当日は新社会人4名を含む15名が参加し、校友会役員の大村代表幹事の進行によりⅠ部、Ⅱ部構成で開催しました。

新社会人と若手卒業生を対象としたⅠ部では、全員の自己紹介の後、愛媛大学の岡就職支援課長の指導により、和気藹々の雰囲気の中、グループワーク等を行いました。続くⅡ部においては、校友会首都圏支部の清水支部長等の先輩方も参加し懇親会が開催され、愛媛



県の特産品争奪じゃんけん大会など大いに盛り上がりました。

平成29年6月10日(土)

平成29年度首都圏支部講演会を開催しました。

愛媛大学校友会首都圏支部では、6月10日（土）の15時から、「グランパークプラザ401ホール」において、講演会を開催しました。

同会には、首都圏在住の会員など総勢55名が出席される中、先ず愛媛大学の仁科理事・副学長から「愛媛大学の近況」について、愛媛大学の強みや現在の取り組み状況、本年度の重点課題等について説明がありました。

続いて、元本学宇宙進化研究センター長で現在、放送大学教授の谷口義明先生から、「宇宙の謎ーなぜ私たちはここにいるのか？」と題してご講演いただき、普段あまり聴くことのない宇宙のロマン溢れる話に、参加者



一同熱心に聴き入っていました。

また、講演会終了後は、同会場で懇親会を開催し、卒業学部や年齢層を越えた久しぶりの再会に和気藹々と大いに盛り上がり、楽しい一時を過ごしました。

なお、校友会首都圏支部では、来年の6月9日（土）に総会・講演会の開催を予定していますので、是非、ご出席くださいますようお願いいたします。



近畿支部だより

平成29年2月28日(火)

就活ツアー（大阪コース）参加学生との情報交換会を開催しました。

▶詳細につきましては9ページをご覧ください。

平成29年7月15日(土)

平成29年度近畿支部講演会を開催しました。

平成29年7月15日（土）の15時から、「大阪倶楽部4階大ホール」（大阪市中央区今橋4丁目）において、平成29年度の講演会を開催しました。

まず愛媛大学の仁科理事・副学長から、「愛媛大学の近況」について、愛媛大学の強みや現在の取り組み状況、今後の重点課題等について説明がありました。

続いて、元愛媛大学医学研究科教授で、現在、愛媛大学名誉教授、阪和第一泉北病院認知症疾患センター長の三木哲郎先生から、「健康長寿延伸と認知症予防について」と題してご講演いただき、超高齢化社会突入に伴う認知症や寝たきり等の疾患に対する予防法等について、分かりやすくご説明していただきました。



当日は、炎暑にも拘らず、近畿圏在住の元本学医学部の先生や校友会会員等33名にご出席いただき、講演会に引き続いて開催した懇親会においても、終止和やかな雰囲気の中、大いに盛り上がりました。

なお、校友会近畿支部では、来年も講演会の開催を予定していますので、是非、ご出席くださいますようお願いいたします。

近畿支部 役員会報告

●平成29年5月13日(土)大阪倶楽部 会議室で開催し、下記の事案が承認されました。

- 議題
1. 平成28年度事業報告（案）及び収支決算書（案）について
 2. 校友会近畿支部講演会の開催（案）について
 3. 新社会人歓迎会「全員集合in大阪2017」について
 4. 近畿支部役員追加について
 5. その他

●次回役員会は、平成29年12月9日(土)に開催する予定です。

愛媛大学校友会近畿支部は校友会本部事務局が担当しております。入会手続きや、活動等についてのお問い合わせは校友会事務局まで。

校友会の国内3つ目の支部として、中国支部の設立に向けて準備を進めております。

中国支部設立準備中

この度、国内3つ目の支部として、以前より設立の要望が寄せられておりました「中国支部」を設立することになり、委員の皆さまと何度も設置準備委員会を重ねて参りました。

つきましては、愛媛大学校友会中国支部設立総会を下記のとおり開催しますので、中国地方に在住の皆さまには是非、ご出席いただきますようご案内いたします。

なお、正式な開催通知や校友会事業のご案内、ご報告等を差し上げたいと思いますので、校友会会員情報のご登録手続（P27または校友会ホームページから）を行っていただきますようお願いいたします。

■設置準備委員会■

- 第1回 平成29年2月26日
- 第2回 平成29年6月3日
- 第3回 平成29年8月19日
- 第4回 平成30年4月 予定

<中国支部設置準備委員会委員>

	学部	氏名
1	法文学部	岡田 禎之
2	法文学部	難波 宜久
3	法文学部	品川 瑞
4	教育学部	神崎 順治
5	教育学部	内田二三夫
6	教育学部	吉原 宏文
7	理学部	曾我部國久
8	理学部	後藤 勇
9	理学部	井上 幸生
10	理学部	中島 浩
11	医学部	秋山 祐治
12	医学部	大杉 健
13	工学部	石井 正男
14	工学部	河野 徹
15	工学部	筒本 隆博
16	農学部	竹野 斌
17	農学部	松本 勲

中国支部設立総会

日 時 平成30年9月8日（土） 14時00分～
会 場 「ひろしまハイビル21」（17階）
広島市中区銀山町3-1

総会次第

愛媛大学校友会会長挨拶

愛媛大学長挨拶

- 議事 (1)校友会中国支部規約（案）について
(2)校友会中国支部役員（案）について
(3)校友会中国支部事業計画（案）について
(4)校友会中国支部予算（案）について
(5)その他

*総会終了後、同会場において懇親会を開催します。

来年度に入りましたら
ホームページでも
通知、参加受付して参ります。

海外支部の設置状況

	支 部	設立年月	支 部 長
1	ベトナム支部	2006年9月	Le Thi-Hai Le 〈リ ハイレ〉
2	中国支部	2006年11月	蔡 英春 CAI, Yingchun 〈サイ エイシュン〉東北林業大学
3	ネパール支部	2007年4月	Yogesh Hari Shrestha 〈ヨゲシュ〉
4	マレーシア支部	2007年11月	Iswadi Bin Jauhari 〈イスワディ〉
5	インドネシア支部	2013年12月	Herry Suhardiyanto 〈ヘリー〉ポゴール農業大学
6	バングラデシュ支部	2014年12月	Nur Ahamed Khondaker



退職教員の会

愛媛大学退職教員の会は、愛媛大学を退職した教員を構成員(会員)として、

1. 会員相互の親睦を図ること
2. 愛媛大学の教育研究の発展を支援するため、会員と愛媛大学をつなぐ事業を推進すること
3. 地域社会と連携しその発展に寄与するため、会員と社会をつなぐ事業を推進すること

を目的として、平成16年2月6日に設立した会員数200余名の任意団体です。

その後、平成16年3月20日に設立された愛媛大学校友会の構成団体の一つとして参画し、校友会の重点事業の一つである人材バンク事業の推進のため、特定非営利活動法人(NPO法人)愛媛大学校友会人材活用センターの中核的団体として活動しています。

■平成28年9月30日 総会・懇親会を開催しました。(総会は2年ごとに開催)



退職職員会

愛媛大学退職職員会は、愛媛大学を退職した事務系、技術系、医療系等の職員を構成員(会員)として、

- (1) 会員相互の親睦に関する事
- (2) 会員が行う愛媛大学の教育研究等の支援に資すること
- (3) 会員の愛媛大学に対する要望等を調整すること
- (4) 会員のもつ知識、能力等に関する情報を集積すること
- (5) 前号の情報を会員相互及び愛媛大学に提供すること
- (6) 愛媛大学を支援するため、愛媛大学関連組織と協力すること

などを目的として、平成15年11月20日に設立した会員数300余名の任意団体です。

その後、平成16年3月20日に設立された愛媛大学校友会の構成団体の一つとして参画し、これらの目的を達成するため愛媛大学校友会と連携協力して活動しています。

■平成28年10月28日 総会・懇親会を開催しました。(総会は2年ごとに開催)



平成29年6月23日(金)、愛媛大学校友会理事会を開催しました。

平成29年度の校友会理事会を6月23日(金)の15時から「松山全日空ホテル」で開催しました。

同ホテル4階の「ルビールーム」で開催した理事会には、ご多忙の中、高橋会長をはじめ、森本相談役、武田、野村両副会長、仁科理事・副学長等29名の理事にご出席いただきました。

同会では、校友会役員を選出や昨年度の事業・決算報告、今年度の事業計画・予算案などのほか、愛媛大学への支援等について熱心にご審議いただいた結果、全ての議案についてご承認をいただきました。

■理事会 15:00～ 松山全日空ホテル「ルビールーム」にて (出席者29人)

議題

1. 校友会役員を選出(案)について
2. 平成28年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について
3. 平成29年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について
4. 愛媛大学への支援について
5. その他

報告事項

- (1) 愛媛大学サテライトオフィス東京について
- (2) 校友会中国支部の設置準備状況について
- (3) その他



■懇親会 17:30～ 同ホテル「ダイヤモンドルーム」にて

同会に引き続き開催した懇親会には、高橋会長ほか27名の理事等にご出席いただき、終始和やかな雰囲気の中、役員同士が大いに親睦を深めました。

来年度の理事会につきましても、どうぞよろしくお願いいたします。



校友会役員紹介 平成28年度～平成30年度 (平成29年6月24日～)

(敬称略:50音順)

役職	氏名	現職	役職	氏名	現職	役職	氏名	現職
会長	高橋 祐二	三浦工業(株)会長, 工業会(工学部同窓会)	理事	上田 修三	社会共創学部事務課長	理事	仲田 秀雄	理学部同窓会
副会長 (常任理事)	武田 壽	工業会会長, 国際連携推進機構客員教授	理事	垣原登志子	農学部同窓会(ユニカリ会)	理事	西田 和真	法文学部同窓会
副会長 (常任理事)	野村 靖記	松山総合開発代表取締役社長, 法文学部同窓会 総務企画担当	理事	城戸 茂	法文学部後援会会長・教育学部教授	理事	野田 忠利	退職職員会
常任理事	泉 紀江	総務部総務課長, 総務企画担当	理事	木下 尚樹	農学部後援会会長	理事	VERGIN・RUTH	国際連携推進機構 国際教育支援センター教授
常任理事	井上 雅裕	理工学研究科(理)教授	理事	久保 泰敏	法文学部同窓会	理事	細川 富生	工学部事務課長
常任理事	三好 功	農学部同窓会(ユニカリ会)会長	理事	窪田 博継	教育学部同窓会	理事	村瀬 光春	退職職員会
常任理事	大谷 勲	理学部同窓会	理事	黒田伊久男	農学部事務課長	理事	山内 孔	教育学部後援会会長
常任理事	小池 昭彦	法文学部同窓会会長	理事	小泉 高志	社会共創学部後援会会長	理事	渡邊 政広	工業会(工学部同窓会)
常任理事	高田 清式	愛大附属病院総合臨床研修センター教授 医学部同窓会	理事	小玉 豊美	理学部事務課長	監事	井手 康夫	旧制松山高等学校同窓会
常任理事	高橋 治郎	教育学部同窓会会長	理事	後藤 淳	医学部看護学科同窓会	監事	八尋 秀典	工学部長・教授
常任理事	立入 哉	教育学部教授	理事	後藤 幹郎	近畿支部長, 法文学部同窓会	幹事	阿部 修一	教育学部同窓会
常任理事	仁科 弘重	理事・副学長, 農学研究科教授, 総務企画担当	理事	小山 哲司	理学部後援会会長	幹事	阿部 晋	教育学部同窓会
常任理事	野倉 嗣紀	退職教員の会会長, 総務企画担当	理事	嶋津 孝	退職教員の会	幹事	池内 直之	工業会(工学部同窓会), 南海放送(株)
常任理事	羽藤 聖治	農学研究科教授	理事	清水 栄治	首都圏支部長, 法文学部同窓会	幹事	上谷 浩一	農学部同窓会(ユニカリ会)
常任理事	平岡 耕一	理工学研究科(工)教授	理事	菅原 康弘	法文学部事務課長	幹事	後藤 珠希	法文学部同窓会
常任理事	松本 長彦	法文学部教授	理事	菅田 顕	教育学部同窓会	幹事	城賀本晶子	医学部看護学科同窓会
常任理事	水口 和壽	退職教員の会	理事	仙波 文彦	財務部財務企画課長	幹事	藤井 雅治	工業会(工学部同窓会), 理工学研究科(工)教授
常任理事	矢野 紘	工業会(工学部同窓会), 総務企画担当	理事	武田 和義	退職職員会	幹事	松下 志郎	教育学部同窓会
常任理事	山村 滋	退職職員会会長	理事	竹田 美香	松山市子規記念博物館館長, 法文学部同窓会	幹事	松田 正司	医学部同窓会, 医学系研究科教授
常任理事	山本 智規	社会共創学部准教授	理事	田鍋 克仁	教育学部事務課長	幹事	渡邊 政富	工業会(工学部同窓会), 渡部建設(株)
常任理事	弓削 俊洋	理事・副学長, 法文学部教授, 総務企画担当	理事	谷 弘幸	理学部同窓会	幹事	渡部 保夫	農学部同窓会(ユニカリ会)
理事	東 長雄	理学部同窓会会長	理事	坪井 敬文	医学部同窓会, プロテオサイエンスセンター教授	顧問	大橋 裕一	愛媛大学長
理事	稲見 俊光	退職職員会	理事	鶴崎 孝	退職教員の会	相談役	森本 惇	前校友会会長
理事	岩田 英信	医学部後援会	理事	仲田 利通	工学部後援会会長	参与	鮎川 恭三	元愛媛大学長

平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画

区分	事業名	平成28年度事業報告	平成29年度事業計画
会員 交流 事業	会員ネットワーク事業	校友会の活動状況を校友会会員に広く情報発信するため校友会の会報誌を創刊した。	校友会の活動状況を校友会会員に広く情報発信するため「校友会報」第3号を発行する。
		県内企業等で働く先輩を訪問取材し校友会ホームページに掲載することで、会員相互のネットワークを拡大させるとともに、在学生の就活の一助とした。	県内企業等で働く先輩に訪問取材し、校友会ホームページに掲載することで会員相互のネットワークを拡大させるとともに、在学生の就活の一助とする。
		首都圏、近畿圏で働く新社会人を応援するため全員集合を開催した。	首都圏、近畿圏で働く新社会人を応援するため全員集合を開催する。
	支部設立等事業	国内の支部及び海外の支部に関する事業への支援を行った。	国内の支部及び海外の支部に関する事業への支援を行う。
	人材バンク事業	NPO法人「愛媛大学校友会人材活用センター」主催による公開講座及び講演会を開催した。また、同センター会員の人材バンクへの登録を推進した。	NPO法人「愛媛大学校友会人材活用センター」事業の支援を行う。
	社会活動支援及び相談事業	えひめ結婚支援センターの協賛企業として登録を継続している。東日本被災地への支援を実施した。	えひめ結婚支援センターの協賛企業として登録を継続する。東日本被災地への支援を実施する。
	就職支援事業	東京、大阪で開催される合同企業説明会に参加する学生に対し、バス借り上げや就職活動交通費の一部補助等を行った。また、卒業生との情報交換会を開催し就職活動を支援した。	東京、大阪で開催される合同企業説明会に参加する学生に対し、バス借り上げや就職活動交通費の一部を補助する。東京、大阪では卒業生との情報交換会を開催し就職活動を支援する。
		医学部の資格取得のための模擬試験受験費用への資金援助を行った。	医学部の国家資格取得試験のための資金援助を行う。
	修学資金支援貸与援助	経済的理由により一時的に修学困難な学生にたいし授業料半期分相当額を貸与している。新規貸与者はなし。また、返還業務の円滑な処理を行った。	貸与者に対し返還業務の円滑な処理を行う。
新入生及び卒業生記念品事業	新入生に対し「学修ポートフォリオファイル」、「多色ボールペン」を作成し配布した。また、卒業生に記念品「今治タオルマフラー」を贈呈した。会員登録記念品に「Quoカード」を作成した。	新入生及び卒業生に記念品を贈り校友会活動の広報等に役立てる。	
ホームカミングデイ事業	愛媛大学と共催して第7回ホームカミングデイを実施した。	愛媛大学と共催で、第8回ホームカミングデイを実施する。	
大学 支援 事業	全学支援事業	平成28年度愛媛大学図書館資料収集方針に基づき、学生用図書を選書し大学に寄付した。	全学的に開催する事業への支援及び資金援助を行う。
	海外派遣制度支援事業	交流協定校への派遣補助、国際連携課が企画する海外派遣プログラム参加者に対する渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行った。	交流協定校及び国際連携課が企画する短期海外派遣プログラム参加者に対する渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行う。
	留学生修学資金援助事業	グローバル人材留学生及び成績優秀な私費留学生に対する修学資金の援助を行った。また、アイネックス法人に加入した。	成績優秀者かつ経済的困窮留学生、グローバル人材育成プログラム生へ奨学金を支給する。
	学業奨励金給付事業	愛媛県内に就職した学生に対して「地域定着促進特別奨学金」を支給した。	県内就職率向上と地域の活性化を図ることに繋げるため、愛媛大学が行う「地域定着促進特別奨学金」制度に資金援助を行う。
	学生募集活動支援事業	入試担当職員の見学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行った。	入試担当職員の見学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行う。
	課外活動支援事業	愛媛大学が定めた評価基準に基づき、学生団体の平成27年度における課外活動状況を評価し、上位からA～Eの5段階に分類し、支援経費を配分した。また、全国大会に出場するサークルに交通費等の一部を支援するほか、医学部学生団体連盟に支援経費を補助した。	愛媛大学が定めた評価基準に基づき、学生団体の平成28年度における課外活動状況を評価し、上位からA～Eの5段階に分類し、支援経費を配分する。また、医学部学生団体連盟に支援経費を補助する。全国大会に出場するサークルに交通費等を支援する。
	SSC支援事業	スーパーサイエンス特別コースにおける特別交流授業への実施への補助（懇親会費等補助）を行った。	スーパーサイエンス特別コースにおける特別交流授業への実施補助（交流会実施経費等補助）を行う。
英語プロフェッショナル養成コース支援事業	学生の高度で実践的な英語運用能力を養成するため、カレッジTOEIC受験の資金援助を行った。	学生の高度で実践的な英語運用能力を養成するため、カレッジTOEIC受験の資金援助を行う。	
社会 連携 事業	講演会等開催事業	今年度は実施しなかった。	愛媛大学等と共同して講演会、シンポジウム、研修会等を開催する。
	地域連携支援事業	今年度は実施しなかった。	地域で開催される連携事業に対する支援及び資金援助を行う。
	カレンダー共同作成事業	「子規プロジェクト」と共同でカレンダーを作成し、国内外への校友会及び愛媛大学の広報に役立てた。	「子規プロジェクト」と共同でカレンダーを作成し、国内外に対して校友会及び愛媛大学の広報に役立てる。
	愛大ミュージアム支援事業	企画展示等にかかる実施支援や広報活動の充実支援を行った。	—
管理 運営 等	各種印刷物	校友会パンフレットを改訂し入学生全員に配布した。校友会が行う各種事業や諸活動に関する情報を提供することによって、校友会事業の円滑な実施と会員相互の連携強化を図った。	校友会パンフレットなどの印刷物を発行し、校友会が行う各種事業や諸活動に関する情報を提供することで、校友会事業の円滑な実施と会員相互の連携強化を図る。
	会議等	第5回定時総会、理事会、常任理事会を開催した。	常任理事会、理事会を開催する。

平成28年度決算及び平成29年度予算

(収入) (単位:千円)

科目	28年度決算額	29年度予算額	差引増▲減額	備考
	A	B	B-A	
会員会費	39,000	38,540	▲460	学部・大学院・退職教職員等入会者
受取利息	5	15	10	預金利息
寄附金				
返還金(修学資金支援貸与金)	310	882	572	
雑収入				
当期収入合計	39,315	39,437	122	
前期繰越収支差額	24,778	15,091	▲9,687	
収入総合計①	64,093	54,528	▲9,565	

(支出) (単位:千円)

事業	項目	28年度決算額	29年度予算額	差引増▲減額	備考
		A	B	B-A	
1 事業	(1) 会員交流事業	14,675	18,400	3,725	会員ネットワーク事業、支部設立等事業、人材バンク事業、社会活動支援及び相談事業、ホームカミングデイ支援事業、新入生・卒業生記念品事業
	(2) 大学支援事業	14,320	15,710	1,390	学生用図書の購入、海外派遣制度支援事業、留学生修学資金支援事業、学業奨励金給付事業、学生募集支援事業、課外活動支援事業、SSC支援事業、英語プロフェッショナル養成コース支援事業
	(3) 社会連携事業	2,761	1,400	▲1,361	講演会等開催事業、地域連携支援事業、カレンダー共同作成事業
2 管理 運営	(1) 管理費等	7,246	8,100	854	
	(2) 予備費	0	3,000	3,000	
	当期支出小計	39,002	46,610	7,608	
	積立金(特別経理へ)	10,000	0	▲10,000	
支出総合計②		49,002	46,610	▲2,392	
次期繰越収支差額(①-②)		15,091	7,918	▲7,173	

▶ 校友会組織



連携支援

※正会員の資格は、校友会設立時(平成16年3月20日)以前と以後とで異なります。

愛媛大学校友会 会議 総会 理事会 常任理事会 役員 会長(理事) 副会長(理事) 顧問 相談役 参与 理事 監事 幹事 事務 事務局 支部等 国内支部 海外支部	愛媛大学校友会	正会員	校友会設立前	卒業生 (同窓会会員)	校友会設立(平成16年3月20日)以前から次の同窓会会員である者 旧姓松山高等学校同窓会, 法文学部同窓会, 教育学部同窓会 理学部同窓会, 医学部同窓会, 医学部看護学科同窓会, 工学部同窓会(工業会), 農学部同窓会(ユーカー会)
				退職教員の会会員 退職職員会会員	校友会設立(平成16年3月20日)以前から 退職教員の会会員, 又は退職職員会会員である者
			校友会設立後	卒業生	平成16年度以降の卒業生で在学中に準会員であった者 及び卒業後に入会した者
				後援会会員	各学部後援会会員(準会員が在学中の期間のみ正会員となります) 法文学部後援会, 教育学部後援会, 理学部後援会 医学部後援会, 工学部後援会, 農学部後援会 社会共創学部後援会
		準会員	在学学生	大学教職員 (退職者を含む)	校友会設立(平成16年3月20日)以降に入会した者 (退職後も正会員となります)
				在学学生	在学中に校友会に入会した者(卒業後は正会員になります)
				賛助会員	本会の事業を賛助する個人・企業及び団体

▶ 校友会Q & A

■ 校友会の目的は？

愛媛大学校友会は平成16年3月20日に愛媛大学の発展に寄与すると共に、会員相互の親交と交流を図ることを目的に設立された団体です。現在、会員は12万人を超えています。

■ 校友会の会費は？

校友会設立(平成16年3月20日)以前から各同窓会会員の卒業生は、校友会設立時に校友会の正会員としていただきますので、校友会会費(2万円)を納めていただく必要はありません。
 また、校友会設立以降に入学した方は、入学以後に校友会会費(2万円)を納めれば在学中は準会員に、卒業(退学)後は自動的に正会員(終身会員)となります。

■ 各学部同窓会と校友会とのちがいは？

愛媛大学の同窓会は学部ごとに組織された団体ですが、校友会はすべての学部の垣根を越えて組織された団体で、各学部同窓会員、後援会員、退職・現職教職員及び在学学生(準会員)も含まれる点で大きく異なります。

■ 学生(準会員)へはどんな支援をしているの？

学生へは大きく分けて「入学生支援」「教育支援」「課外活動支援」「学業奨励金給付事業」「海外留学支援」「留学生支援」「就職活動支援」「卒業生支援」等を行っています。
 最近では、入学生には「学修ポートフォリオファイル」及び「入学記念品」を、卒業生には卒業記念品として「今治のタオルマフラー」を贈呈しました。詳しくはP4～P10をご参照ください。

■ 卒業後はどんな活動に参加できるの？

総会(3年に1回開催)にぜひ参加してください。また、会員間の交流事業として「ホームカミングデイ」、「新社会人歓迎会(全員集合in東京、大阪)」、「就活学生との情報交換会」、「講演会」、「公開講座」、「演奏会」等に参加いただけます。

■ 会員情報登録って？

愛媛大学校友会会員であっても住所、メールアドレスなどの情報を校友会に登録していただかないと、校友会から愛媛大学及び校友会の近況やイベント情報をお知らせすることが出来ません。大学や校友会からの情報発信や会員同士のネットワークを広げていただくため、ぜひ右頁の「会員情報登録のご案内」により会員情報登録(無料)をお願いします。まだ登録されていない方、卒業等により連絡先を変更された場合にも、変更登録をお願いします。なお、新規に登録された方には校友会から記念品を進呈いたします。

会員情報登録のご案内

※登録は無料です。

- ① WEBからの登録
<http://koyu.ehime-u.jp/entry.html>
 にアクセスして登録ください。
- ② ハガキ，FAXで登録
 ハガキ，または紙に下記の必要事項を記入し，送ってください。



QRコード

●は必須項目です

- 氏名：()
 旧姓 ()
 - 性別： 男 女
 - 生年月日： 昭和・平成 年 月 日生 (歳)
 - 住所： 〒 -
 - 電話（携帯）番号 ()
 - メールアドレス ()
 - 区分：
 卒業生 大学教職員 退職教員 退職職員 後援会員
-
- ※卒業生のみ下記もご記入をお願いします。
- 卒業学部・学科・卒業年
 () 学部
 () 学科
 昭和・平成 年 月卒業・修了

新規登録特典



「校友会オリジナルQUOカード」を進呈

※愛媛大学校友会の会員の方のみご登録が可能です。
 ※なお，ご登録いただきました情報に関しましては，愛媛大学校友会が厳重に管理し，校友会からのご連絡のみに使用し，他の目的に使用したり，第三者に提供することはありません。

＜お問い合わせ・送付先＞

愛媛大学校友会事務局
 〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
 TEL 089-927-8610 / FAX 089-927-8609

事務局だより

★原稿を募集しています。

校友会では，ホームページや会報に掲載する原稿を募集しています。

在学時・在職時の愛媛大学の思い出を写真等（当時のキャンパス・愛媛県内の風景など）

ありましたら添えてメール又は郵送で投稿してください。掲載した場合は薄謝を進呈します。

また，会報に関して，大学関係で掲載して欲しい事，見たい場所等ございましたらお気軽にご連絡ください。

可能な限り取材して掲載したいと思います。校友会事務局は少人数での運営のため，行き届かない点はどうぞご容赦いただきますよう，お願いいたします。ご意見，ご感想お待ちしております。



校友会館外観



校友会事務局



S29年頃 学内風景



S63年頃 山越合宿研修施設



S43年頃 御幸寮

